

◆ アバナ ◆ (準備)

《材料》

種類	商品名	容量、施工面積
下塗り材 (シーラー)	①セニクリル	2.5L=±20㎡ 10L=±80㎡
ベース材	②アバナ	10kg=±24㎡
着色剤	③アバナカラー(パウダー状)	仕上げ材1缶に対し色粉1袋が標準

※施工面積は、下地の状況や施工方法、またテクスチャーによって変動します。

※色粉は種類によって内容量が異なります。



①



②③

◆ アバナ ◆ (施工)

① 下塗り

薄塗りでの仕上がりのため、下地処理は念入りに行ってください。
セニクリル(シーラー)は、下地と壁材の接着をよくするために、必ず使用してください。濃い色を塗る場合は、吸い込みを均一にするため、セニクリルの前に左官シーラー(ハイフレックス等)を塗ることをおすすめします。
セニクリルをローラーなどで塗った後、6～12時間乾かしてください。
2度塗りの際には、4時間以上乾かしてから2度目を塗ってください。



② 仕上げ

アバナは未着色(白)であり、着色剤を使用する壁材です。
着色する場合は、アバナ5Kgに対してアバナカラーを1袋入れてよく混ぜ、別容器に入れた指定量の水に材料を入れ、ムラができないように攪拌します。(色によって色粉量、水量が異なります)
※ 小さなダマが入っていることがあるので、よく攪拌してください。
基本的には、総重量に対して半分の量の水を入れます。
※ 入れるカラーの量により自由に調色できます。



材料が攪拌できたら刷毛で模様をつけながら塗っていきます。
厚みは塗装をするようなイメージで、1mm厚程度に薄く平滑に塗ってください。
刷毛を左右上下に動かして塗り、お好みのテクスチャーをつけてください。
塗り終わったら約12時間乾燥させます。
※ アバナは弾性が少ないので、極度に刷毛目の凹凸があると亀裂が入る可能性があります。
※ コテで塗った後に刷毛でテクスチャーをつけることもできます。

③ 仕上げ応用編

仕上げの際、刷毛で塗った後にステンレスコテで軽く押さえることで、アンティークな壁面を表現できます。
軽く手で触ってもアバナが手につかない状態まで乾いた頃に押さえてください。(夏30分、冬1時間が目安です)
刷毛目と鏝で抑えた部分が半分ずつくらいだと仕上がりが綺麗に見えます。



◆施工に関して

- ・ 施工前に試し塗りをしてパターンを確認してください。
- ・ 施工時から完全に乾燥するまでに、気温が5℃以下になる場合には、クラックの原因になります。
- ・ 施工方法の文中の説明は、気温20℃の場合の乾燥時間の目安です。
- ・ 天候や気温・湿度によって乾燥時間は異なります。
- ・ 乾燥を急ぐ際の器具等を使っての急激な乾燥は、ひび割れの原因になりますので十分ご注意ください。
- ・ 各作業は、必ず前工程の乾燥後に行ってください。
- ・ 養生は施工後できるだけ早く除去してください。

◆安全に関して

- ・ 施工場所をよく換気してください。
- ・ 誤って目や口に入ってしまった場合は、清潔な水で洗い流すなどしてから医師の診断を受けてください。
- ・ 施工後は手洗い、うがいを行ってください。

◆下地に関して

石膏ボード

- ① 石膏ボードの動きや剥離がないことを確認します。
出隅に面引きを使う場合はカッターで出隅の面をカットしておくとう作業がしやすくなります。
- ② 目地の部分にジョイントテープ(寒冷紗テープ、ファイバーテープ)を貼ります。出隅、入隅部分も同様の作業を行います。
- ③ はじめに下パテをヘラ等でビス穴に埋めます。次にジョイント部分を約15cm幅で塗っていきます。出隅、入隅部分も同様に約15cmの幅で塗ります。
- ④ 下パテが完全に乾燥した後、上パテをビス穴に塗ります。